

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 6 月 7 日

福島県知事 内堀 雅雄 殿



提出者 安藤・東信特別共同企業体

住 所 福島県福島市浜田町3番28号

氏 名 株式会社 安藤組
代表取締役社長 安藤 正明

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 024-534-2325

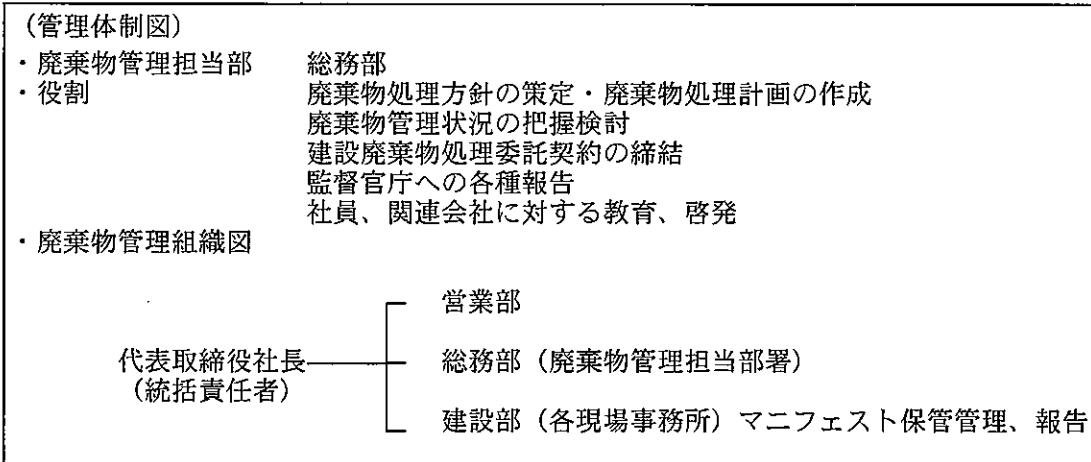
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	安藤・東信特別共同企業体 (猪苗代町統合中学校新屋内運動場建築主体・旧校舎等解体工事)
事業場の所在地	福島県耶麻郡猪苗代町大字千代田字中島5-1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高 2,323,041,928円
③ 従業員数	39人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	[解体工事、建築工事、とび・土工事、塗装工事、防水工事等] 廃プラスチック類⇒中間処理業者又は最終処分業者に委託 木くず⇒中間処理業者又は再生処理業者に委託して、燃料用として再資源化 ガラス・コンクリートくず及び陶磁器くず⇒中間処理業者又は最終処分業者に委託 がれき類⇒中間処理業者又は再生処理業者に委託して、再生骨材として再資源化 汚泥(建設汚泥)⇒最終処分業者又は再生処分業者へ委託 建設系混合廃棄物⇒中間処理業者又は最終処分業者に委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度 (4 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
①現状	排出量	41.41 t	66.29 t
	(これまでに実施した取組)		
・ 梱包材の簡素化 (紙くず・廃プラスチック類)			
・ 余剰材の引き取り (木くず)			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
②計画	排出量	20 t	30 t
	(今後実施する予定の取組)		
・ 下地材・ボード類などのプレカットによる現場での廃棄物発生を抑制する。			
・ 撤去後再利用・再取り付け可能なものについての利用推進。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 石綿含有産業廃棄物は他の廃棄物と分別、保管を行う。 ・ 石膏ボード、金属くず、廃プラスチック類、紙くず等も分別を行う。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 建設系混合廃棄物を減少させるため、細やかな分別を行うと同時に現場内で発生するごみの減少に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で再生利用を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で再生利用を行う予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) これまでに、自社で中間処理を行った事はない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で中間処理を行う予定はない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引続き自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	41.41 t	66.29 t
	優良認定処理業者への処理委託量	9.69 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	31.02 t	66.29 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・委託基準に従って、委託業者を選定し、書面による契約の実施。 ・再生利用が可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。 			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	20 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	10 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・委託基準に従って、委託業者を選定し、書面による契約の実施。 ・再生利用が可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。 ・優良認定処理業者への処理委託の検討、実施。 			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1-1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（ 4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物	建設系混合廃棄物 (水銀使用製品産業廃棄物)
	排出量	17.81 t	5932.52 t	1.04 t	0.17 t
(これまでに実施した取組) ・再生利用業者への処理委託。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物	建設系混合廃棄物 (水銀使用製品産業廃棄物)
	排出量	10 t	800 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・引き続き再生利用業者への処理委託を行う。					

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・石綿含有産業廃棄物は他の廃棄物と分別、保管を行う。 ・石膏ボード、金属くず、廃プラスチック類、紙くず等も分別を行う。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・建設系混合廃棄物を減少させるため、細やかな分別を行うと同時に現場内で発生するごみの減少に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（ 4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物	建設系混合廃棄物 (水銀使用製品産業廃棄物)
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) これまでに、自社で再生利用を行ったことはない。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物	建設系混合廃棄物 (水銀使用製品産業廃棄物)
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で再生利用を行う予定はない。					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（ 4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物 <small>(水銀使用製品産業廃棄物)</small>
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) これまでに、自社で中間処理を行った事はない。				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物 <small>(水銀使用製品産業廃棄物)</small>
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で中間処理を行う予定はない。				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項				
①現状	【前年度（ 4年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物 <small>(水銀使用製品産業廃棄物)</small>
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物 <small>(水銀使用製品産業廃棄物)</small>
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（4年度）実績】					
①現状	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物	建設系混合廃棄物 (水銀使用製品産業廃棄物)
	全処理委託量	17.81 t	5932.52 t	1.04 t	0.17 t
	優良認定処理業者への処理委託量	15.81 t	27.62 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	5902.44 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、委託業者を選定し、書面による契約の実施。 ・再生利用が可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。					

【目標】					
②計画	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリートくず及び陶器くず	がれき類	建設系混合廃棄物	建設系混合廃棄物 (水銀使用製品産業廃棄物)
	全処理委託量	20 t	800 t	0 t	0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	5 t	0 t	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	10 t	700 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・委託基準に従って、委託業者を選定し、書面による契約の実施。 ・再生利用が可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。 ・優良認定処理業者への処理委託の検討、実施。					

※事務処理欄

別紙2-1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項					
①現状	【前年度（ 4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	排 出 量	684.98 t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・再生利用業者への処理委託。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	排 出 量	300 t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き再生利用業者への処理委託を行う。				
産業廃棄物の分別に関する事項					
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・石綿含有産業廃棄物は他の廃棄物と分別、保管を行う。 ・石膏ボード、金属くず、廃プラスチック類、紙くず等も分別を行う。				
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・建設系混合廃棄物を減少させるため、細やかな分別を行うと同時に現場内で発生するごみの減少に努める。				
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（ 4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・これまでに、自社で再生利用を行ったことはない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・引き続き自社で再生利用を行う予定はない。				

別紙2-2

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（ 4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） これまでに、自社で中間処理を行った事はない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・引き続き自社で中間処理を行う予定はない。				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（ 4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） ・これまでに、自社で埋立処分又は海洋投入処分を行ったことはない。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・引き続き自社で埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はない。				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（ 4年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	全処理委託量	684.98 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、委託業者を選定し、書面による契約の実施。 ・再生利用が可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。					

②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥			
	全処理委託量	300 t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t	t	t
(今後実施する予定の取組) ・委託基準に従って、委託業者を選定し、書面による契約の実施。 ・再生利用が可能な廃棄物については、再生利用業者へ処理を委託する。 ・優良認定処理業者への処理委託の検討、実施。					
※事務処理欄					